



S=1/100

日常の雅 MIYABI

■クライアントの要望

日本史の教師をされており、「和」に強い興味とこだわりのあるお施主様。元々のシンプルな和室のデザインに不満があり、より「和」を感じる空間にしたい。着物を着て過ごせるような空間にしたい。

■エレメント

- 床: 畳(既存利用)
- 壁: LOHAS material/珪藻土
- 天井: オレフィンクロス
- 引戸・欄間: 造作材/塗装仕上

■コスト 130万円

■コンセプト

リビングダイニングに隣接した小上がり和室の為、空間の繋がりを気にしながら、ご要望の「和」のイメージを強調できる格子建具を造作。建具からは、こぼれる光と影が、落ち着いた上質な「和」を感じさせる。建具を開くとリビングと一つの空間に。建具を閉じるとしっかりとした個室空間に。来客時には、和室がベンチとなり、大きなダイニングスペースへと変化。可変性のある、こだわりある和室となった。

